

2019（平成31）年度

広島大学大学院総合科学研究科（博士課程後期）

学生募集要項

〔一般選抜〕

〔社会人特別選抜〕

〔フェニックス特別選抜〕

（第2次）

（2019（平成31）年4月入学）

2018（平成30）年11月



広島大学

広島大学大学院総合科学研究科（博士課程後期）学生募集要項

目次

1. 募集人員及び試験場	1
2. 出願資格	1
3. 出願資格事前審査	2
4. 出願手続	3
5. 学力検査等実施日時	6
6. 入学者選抜方法	6
7. 合格者発表	7
8. 入学に要する経費	7
9. 教育方法の特例	7
10. 長期履修学生制度	7
11. 出願に伴う個人情報の取扱い	8
12. 試験成績（個人情報）の開示・申請	8
13. 学生宿舎	8
14. 注意事項	8
総合科学研究科の概要	9
総合科学研究科教員一覧表	10
出願書類	17

試験場位置図

2019（平成31）年4月に入学する本学大学院総合科学研究科（博士課程後期）の学生を次のとおり募集します。

本研究科においては、次のような志を持つ人の入学を期待します。

- (1) 文系理系の枠組みや狭い個別分野にとらわれず新しい学問に触れ、かつ新しい知の領域を創造したいと思う人（本学理念：新たな知を創造する人）
- (2) 現実に自分が生きている複雑な社会を直視し、そこから自分で独自の課題を発見し、その背景を理解し、課題解決の道を明らかにしたいと思う人（本学理念：平和を希求する精神を育み、絶えざる自己改革を実践する人）
- (3) 国、地域、社会等の枠を超え、異文化や他者に寛容な姿勢を持ち、自分の意見を表明する能力を身に付けたいと思う人（本学理念：豊かな人間性を培い、地域社会・国際社会との共存を推進する人）

1. 募集人員及び試験場

2019（平成31）年4月入学生

専攻名	選抜区分	募集人員	試験場
総合科学専攻 (定員：20名)	一般選抜	若干名	広島大学大学院総合科学研究科
	社会人特別選抜		
	フェニックス特別選抜		

2. 出願資格

各選抜の出願資格は、次のとおりです。

一般選抜	出願資格(6)、(7)及び(8)により出願しようとする者は、出願資格の審査を行いますので「3. 出願資格事前審査」の項を参照してください。
-------------	---

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは入学日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者であって、24歳に達したもの

社会人特別選抜	出願資格(6)、(7)及び(8)により出願しようとする者は、出願資格の審査を行いますので「3. 出願資格事前審査」の項を参照してください。
----------------	---

本研究科入学時において、2年以上の職歴若しくはその他の社会経験を有する者で、次のいずれかに該当する者、あるいは入学日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位

に相当する学位を授与された者

- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者であって、24歳に達したもの

フェニックス 特別選抜

出願資格(6)、(7)及び(8)により出願しようとする者は、出願資格の審査を行いますので「3. 出願資格事前審査」の項を参照してください。

学位取得を目指し、入学日現在満55歳以上の者で、次のいずれかに該当する者、あるいは入学日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者であって、55歳に達したもの

3. 出願資格事前審査

一般選抜、社会人特別選抜及びフェニックス特別選抜の出願資格事前審査対象者は、次の書類を2018（平成30）年12月3日（月）から12月7日（金）17時まで（必着）に願書受付場所（4. 出願手続(2)参照）に提出し、指示を受けてください。郵送の場合は書留郵便とし、12月7日（金）必着としますが、これ以降に到着した場合は、12月5日（水）までの消印があるもの限り受理します。また、封筒表面に「総合科学研究科出願資格事前審査申請書在中」と朱書してください。認定審査の結果は、2019（平成31）年1月6日（日）までに本人あて通知します。

- (1) 出願資格(6)により出願しようとする者
 - ① 出願資格事前審査申請書（交付の用紙を使用してください。）
 - ② 最終学歴証明書※
 - ③ 最終学歴の成績証明書、又はこれに準ずるもの
 - ④ 大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格したことを示す証明書（合格の基準、カリキュラムの内容、当該審査の位置づけ等を示す資料を添付してください。）
 - ⑤ 本人の住所氏名を明記した封筒（長形3号に82円分の切手を貼ったもの。）

- (2) 出願資格(7)の文部科学大臣の指定した者は、次のとおりです。
- ア. 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
- イ. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
- ウ. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
- ① 出願資格事前審査申請書（交付の用紙を使用してください。）
- ② 最終学歴証明書※
- ③ 最終学歴の成績証明書、又はこれに準ずるもの
- ④ 研究能力を証明する研究論文等
- ⑤ 本人の住所氏名を明記した封筒（長形3号に82円分の切手を貼ったもの。）
- (3) 出願資格(8)により出願しようとする者
- ① 出願資格事前審査申請書（交付の用紙を使用してください。）
- ② 最終学歴証明書※
- ③ 最終学歴の成績証明書、又はこれに準ずるもの
- ④ 研究能力を証明する研究論文等
- ⑤ 本人の住所氏名を明記した封筒（長形3号に82円分の切手を貼ったもの。）

※最終学歴証明書について

中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学の卒業者は、“毕业证书”及び“学士学位证书”の本紙又は原本証明された写しを提出してください。併せて、中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询 <http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)により学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)の書類を取得し、提出してください。なお、発行手数料は志願者負担となります。学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)は、Web認証が2018(平成30)年12月21日(金)時点で有効であることを確認してください。

4. 出願手続

(1) 願書受理期間

2019(平成31)年1月7日(月)から1月11日(金)17時まで(必着)

持参する場合は、8時30分から17時まで受け付けます。

郵送の場合は書留郵便とし、1月11日(金)必着としますが、これ以降に到着した場合は、1月9日(水)までの消印があるものに限り受理します。

また、封筒表面に「総合科学研究科願書在中」と朱書してください。

(2) 願書受付場所

〒739-8521 東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学総合科学研究科支援室(大学院課程担当) (TEL 082-424-6318)

※ 東広島市以外からは、すべて市外局番からダイヤルしてください。

(3) 提出書類等

- 提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書には、日本語又は英語の訳を添付してください。
- 証明書記載の氏名等が現在と異なる場合には、それに関する証明書等も併せて提出してください。
- 証明書類は、必ず原本か、原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。

ア	入学志願票・受験票等	<p>交付の用紙を使用してください。 [志願票, 受験票, 写真票, 入学検定料振込証明書貼付票]</p>
イ	成績証明書	<p>出身大学(研究科)長が作成したもの。必ず原本か、原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。</p>
ウ	<p>修士課程(博士課程前期) 修了(見込)証明書</p>	<p>出身大学(研究科)長が作成したもの。必ず原本か、原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。 修了者の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 中国(台湾, 香港, マカオを除く)の大学院を修了(見込み)の方は、中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询 http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp)により以下の書類を取得し、併せて提出してください。 ・修了者…学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表) ・修了見込み者…オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告) これらの書類は、2019(平成31)年1月25日(金)時点で有効であることを確認してください。なお、発行手数料は志願者負担とします。 また、修了者は、“毕业证书”及び“硕士学位证书”の本紙又は原本証明された写しを修了証明書に加えて提出してください。 </p>
エ	修士論文	<p>修士論文を提出してください。 修了見込みの者で修士論文を作成中の場合は、交付の用紙(【注1】参照)を使用し、修士論文概要を2,000字程度で記載してください。 修士論文又は修士論文概要を提出できない場合には、研究能力を証明する研究論文等を提出してください。</p>
オ	研究計画書	<p>一般選抜で受験する場合に提出してください。 交付の用紙(【注1】参照)を使用し、大学院入学後の研究計画を1,000字程度で記載してください。</p>
	志望理由書	<p>社会人特別選抜、フェニックス特別選抜で受験する場合に提出してください。 交付の用紙(【注1】参照)を使用し、1,000字程度で記載してください。</p>
カ	入学試験出願資格審査合格通知書	<p>本学大学院総合科学研究科長が発行したもの。 (出願資格事前審査を受けた者のみ提出してください。)</p>
キ	返信用定形封筒	<p>定形封筒(長形3号)に、本人の住所氏名を明記し、92円分の切手を貼ったもの。</p>

ク	入学検定料	<p>30,000円</p> <p>広島大学入学検定料振込依頼書（入金票）〔本学専用用紙〕により、入学志願票貼付用、志願者保管用、入学検定料振込依頼書（入金票）の太ワクの中に、志願者氏名及び志願者住所を必ず記入して、都市銀行、地方銀行等の本支店で振り込んでください。（ゆうちょ銀行及び郵便局（以下「ゆうちょ銀行」という。）から振り込む場合は、ゆうちょ銀行所定の振込依頼書に転記する等、別途手続が必要となります。詳細は同封の振込依頼書（入金票）をゆうちょ銀行窓口にて提示の上、ご相談ください。また、ゆうちょ銀行を含む各銀行ATMからは振り込めませんのでご注意ください。）</p> <p>なお、振込手数料は振込人負担となります。</p> <p>また、「受付金融機関出納印」欄には、2019（平成31）年1月11日（金）付け（願書受理期間の最終日）までの出納印のあるものに限り有効となりますので、都市銀行、地方銀行等の窓口での受付時間を確認の上振り込みを行ってください。</p> <p>その他、【注2】を参照してください。</p> <p>※広島大学大学院各研究科博士課程前期から引き続き（期間を経ず）博士課程後期へ進学を希望する者及び国費外国人留学生は、検定料は不要です。</p>
ケ	入学検定料振込証明書	<p>入学志願票貼付用（入学検定料振込証明書）を、ア（入学志願票・受験票等）の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼付して提出してください。</p>
コ	住民票の写し	<p>日本に在住している外国人の志願者に限り必要です。</p> <p>市区長村長が交付したものを。</p>
サ	住所票シール	<p>交付の用紙を使用してください。</p>

【注1】提出書類のうち、エ、オについては、総合科学研究科ホームページ掲載の様式をダウンロードして使用することも可能です。

総合科学研究科ホームページ

https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka/admission/g_admission/g_admission_kouki

【注2】次の（1）（2）に該当する場合を除いて、出願受付後は、既納の入学検定料は返還しません。

（1）（2）に該当する場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」、「氏名」、「郵便番号」、「住所」、「連絡先電話番号」を明記した書面（様式は任意）に必ず「入学検定料振込証明書」添付の上、2019（平成31）年2月28日（木）までに下記送付先宛に郵送又はFAXしてください。その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。

（1）出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合

（2）検定料を誤って二重に振り込んだ場合

送付先：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号

広島大学東広島地区運営支援部共通事務室 出納担当

（電話）082-424-7811 （FAX）082-424-6962

(4) 出願方法

① 志願者は前号**ア～サ**の書類等を取りそろえ、願書受理期間内に提出してください。

※ カの書類については、出願資格事前審査を受けた者のみ提出してください。

※ コの書類については、外国人の志願者のみ提出してください。

② 前号**イ、ウ**の書類を提出できない特別の事情がある場合は、これに代わる書類を提出してください。

③ 出願資格事前審査を受けた者は、前号**イ、ウ**を提出する必要はありません。

④ 外国人の志願者で、TOEFL®、TOEIC®等の英語検定試験又は日本語能力試験を受験している

場合は、その成績証明書を併せて提出してください。

(5) 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書（様式は定めません。）を願書受付場所（4. 出願手続(2)参照）に提出し、相談してください。

ア. 相談の時期 2018（平成30）年12月7日（金）まで

イ. 申請書の記載内容

- ① 志願者の氏名、住所（連絡先電話番号も記載してください。）
- ② 出身大学名及び志望する指導教員名
- ③ 障害等の種類・程度（障害者手帳のコピー又は医師の診断書を添付してください。）
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身大学等でとられていた特別措置
- ⑦ 日常生活の状況

5. 学力検査等実施日時

一般選抜

期 日	試 験 区 分	時 間
2月 9日（土）	筆 記 試 験 （外 国 語）	10:00～11:30
2月10日（日）	口 述 試 験 （1人当たり概ね60分）	13:00～

社会人特別選抜

フェニックス特別選抜

期 日	試 験 区 分	時 間
2月10日（日）	口 述 試 験 （1人当たり概ね60分）	13:00～

6. 入学者選抜方法

一般選抜

学力検査（筆記試験、口述試験）、成績証明書、修士論文等及び研究計画書を総合評価して選考します。

(1) 筆記試験

科目名（配点）	内 容
外国語（150点）	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、日本語のうちから母語 ^(注) を除く1か国語を選択してください。

(注) ここでいう母語とは、自分が日常使用する言語を指します。

(2) 口述試験

詳細については、試験当日指示します。

口述試験では、大学院入学への動機と意欲、研究の基礎知識等を段階評価します。

社会人特別選抜

フェニックス特別選抜

学力検査（口述試験）、成績証明書、修士論文等及び志望理由書を総合評価して選考します。

口述試験

詳細については、試験当日指示します。

口述試験では、大学院入学への動機と意欲、研究の基礎知識等を段階評価します。

7. 合格者発表

2019（平成31）年2月22日（金）12時の予定

試験場に掲示するとともに合格者に通知します。なお、電話等による照会には応じません。

また、情報提供の一環として、下記総合科学研究科ホームページにおいても2月22日（金）12時から2月28日（木）12時まで合格者の受験番号を掲載します。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka>



8. 入学に要する経費

納付金

入学金 282,000円

※広島大学大学院各研究科博士課程前期から引き続き（期間を経ず）博士課程後期へ進学する者は、入学金の納付は要しません。

授業料（年額） 535,800円（前期分267,900円）

- ① 既納の入学金は、いかなる理由があっても返還しません。
- ② 上記記載の金額は2018（平成30）年4月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定後の納付金を納入することになります。
- ③ 2019（平成31）年3月中旬の指定する期間に入学手続を行うこととなりますが、詳細については別途お知らせします。

9. 教育方法の特例

入学後も社会人として在職のまま修学する者に対しては、社会人としての職務の遂行と本研究科での履修が両立するよう大学院設置基準第14条の特例に基づく制度を設けています。

本研究科での特例措置による履修方法は、研究指導を、夜間・土曜日、夏季・冬季休業期間等に行うほか、情報ネットワークを利用し行うこともあります。履修計画については、指導教員の指導のもとに作成することになります。

なお、この制度の利用については、必ず出願前に志望する指導教員に連絡の上、指導を受けてください。

10. 長期履修学生制度

次のいずれかに該当する者を対象として、標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修して課程を修了することができる制度があります。

- ① 職業を有し、かつ、就業している者（アルバイトとして就業する者を含む。）で、学修時間の確保が著しく困難である者
- ② 家庭において家事、育児及び介護を行う者で、学修時間の確保が著しく困難である者
- ③ 本学フェニックス入学制度により入学した者

この制度による授業料は、標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。

なお、長期履修期間の年限等この制度の詳細については、出願前に総合科学研究科支援室（大学院課程担当）に照会してください。

1 1. 出願に伴う個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係（奨学金申請、授業料免除申請等）業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

1 2. 試験成績（個人情報）の開示・申請

研究科が保有する個人に関する入試情報の開示は、総合科学研究科の入学試験を受験した本人に限り申請することができます。

なお、開示申請の方法については、総合科学研究科ホームページをご覧ください。

試験成績（個人情報）の開示・申請ホームページアドレス

https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka/admission/g_admission/g_kaiji

1 3. 学生宿舎

学生宿舎の入居者募集については、学生宿舎ホームページをご覧ください。

学生宿舎ホームページアドレス

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/shien/jyuukyo>

学生宿舎についての問合せ先

広島大学教育室教育部学生生活支援グループ（TEL 082-424-6141）

1 4. 注意事項

- (1) 志願者は、担当教員一覧表又は本研究科ホームページを参照し、応募する前に希望する担当教員に E-Mail か電話その他で連絡の上、希望研究内容等について相談してください。ただし、事前相談はあくまでも本研究科からの情報提供という性格のものであり、これが選考過程に影響することはありません。

所属部門別教員連絡先一覧ホームページアドレス

https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka/research/kyouin_list/g_list



- (2) 出願手続後は志願票等の記載事項の変更は一切認めません。
- (3) 志願者は、試験前日に試験場に行き、試験に関する諸注意を承知しておいてください。
- (4) 合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。
- (5) 修了見込みで出願して合格した者が、入学日までに修了できなかった場合、入学資格がないものとみなされます。
- (6) 気象等の影響で試験日時を変更する場合は、総合科学研究科ホームページで発表します。
- (7) 受験について不明な点があれば、下記へ問い合わせてください。

〒739-8521 東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学総合科学研究科支援室（大学院課程担当）（TEL 082-424-6318）

総合科学研究科の概要

1. 本研究科は、広島大学総合科学部を基盤として、平成 18 年 4 月に設立された。本研究科は「総合科学」にもとづく教育と研究を展開する大学院である。「総合科学」は、21 世紀の人類社会が直面する複合的課題に取り組むため、個々の専門分野を深化させるとともに、その融合・協同をつうじて未到の知の地平を開拓する科学の方法である。本研究科教育課程は、自己の専門分野を「重点的」に研究して専門的な知識・技能を高めるだけでなく、学際性・総合性・創造性に秀でた「総合科学」の知的技法を身に付け、その成果を、学際的・総合的な観点から客観的に評価しうるジェネラリスト（「重点的ジェネラリスト」と呼ぶ）の養成をめざす。
2. 本研究科は、専門分野を超えた学際的・総合的な学問研究を行うため、「総合科学専攻」の 1 専攻からなり、「人間科学部門」、「環境科学部門」、「文明科学部門」及び「21 世紀科学プロジェクト群」の 3 部門 1 群で構成されている積み上げ方式の博士課程で、標準修業年限を前期 2 年、後期 3 年とする。

総合科学専攻

- 1) 人間科学部門：人間そのものの本質と普遍性を学際的・総合的に理解するために、生命・脳科学、心理学、スポーツ科学、言語学、哲学・倫理学、美学・芸術学などの自然科学的・人文科学的手法を駆使し、「人間とは何か」という課題を追求する。
 - 2) 環境科学部門：自然、社会、物質、情報、生活など、広義の環境を学際的・総合的に理解するために、環境の形成過程の分析とその多角的評価を行い、それを通じて現代社会が抱える複合的リスクを検証し、「環境と人間の共生はいかにあるべきか」の課題を追求する。
 - 3) 文明科学部門：歴史と地域性を背景として「衝突」と「対話」を繰り返す文明の動態を学際的・総合的に理解するために、文明・文化の通時的・共時的諸相を総合科学の手法を用いて解明し、「知的財産をいかに伝えるべきか」という課題を追求する。
 - 4) 21 世紀科学プロジェクト群：21 世紀の人類社会が直面する複合的課題を具体的に発見・設定し、学際的・総合的にその解決をめざす研究群。到達目標を共有する研究者・学生から編成する。プロジェクトには、「言語と情報研究」、「文明と自然研究」、「リスク研究」、「資源エネルギー研究」、「要素－システム研究」、「ヒロシマの形成」、「環境平和学」及び「ヒロシマ韓国学」がある。
3. 本研究科の教育課程は、部門・領域・分野を超えた共通コア科目とプロジェクト群により、学際的・総合的な修学ができるように編成されている。入学後、学生は、3 部門 1 群のいずれかを重点的な専門教育単位として選択する。プロジェクト群を選択した学生も、学位を取得することができる。
 4. 本研究科の学生は、所属部門・所属プロジェクトにかかわらず、「文理融合型リサーチマネージャー養成プログラム」に参加し、研修プログラム等に参加することができる。
 5. 本研究科は、社会人や他分野の修了者に対して、博士課程前期・後期いずれの教育課程も、広く門戸を開放する。また、社会人入学者に対して、履修上の特例措置を講ずる。
 6. 本研究科の博士課程前期の修了者には修士（学術）の、博士課程後期の修了者には博士（学術）の学位が授与される。

総合科学研究科教員一覧表

人間科学部門

2018 (平成 30) 年 10 月 1 日現在 (2019 (平成 31) 年 3 月退職予定者を除く。)

領 域	分 野	担 当 教 員	
生 命 科 学 研 究	生 命 科 学	教 授 石 田 敦 彦 ○教 授 山 崎 岳	○准教授 根 平 達 夫 ○准教授 彦 坂 暁
	脳 科 学	○教 授 浮 穴 和 義 ○教 授 斎 藤 祐 見 子 ○教 授 古 斎 川 康 雄	○准教授 佐 藤 明 子
人 間 行 動 研 究	認 知 行 動 科 学	教 授 坂 田 省 吾	准教授 有 賀 敦 紀 准教授 小 川 景 子
	人 間 行 動 学	教 授 岩 永 誠 教 授 坂 田 桐 子 教 授 林 光 緒	准教授 杉 浦 義 典 准教授 小 宮 あすか
身 体 運 動 科 学 研 究	身 体 運 動 科 学	教 授 関 矢 寛 史 教 授 長 谷 川 博 教 授 船 瀬 広 三 信 教 授 和 田 正 信	准教授 上 泉 康 樹 准教授 進 矢 正 宏 亮 准教授 田 中 亮
言 語 研 究	言 語 科 学	教 授 井 口 容 子 教 授 井 上 永 幸 教 授 岩 崎 克 己 教 授 柴 田 美 紀 *教 授 吉 田 光 演	准教授 石 川 雅 隆 准教授 大 嶋 広 美 准教授 Clenton, Jon 准教授 Taferner, Robert Horst 准教授 町 田 章 准教授 山 根 典 子
人 間 存 在 研 究	人 間 存 在 論	教 授 青 木 孝 夫 樹 教 授 桑 島 秀 樹	准教授 大 島 徹 也 准教授 眞 嶋 俊 造 准教授 宮 園 健 吾 准教授 Grajdian, Maria Mihaela 准教授 Rigsby, Curtis

(注) *印の教員は、2020 (平成 32) 年 3 月退職予定者です。

○印の教員は、2019 (平成 31) 年 4 月から統合生命科学研究科担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

総合科学研究科教員一覧表

環境科学部門

2018 (平成 30) 年 10 月 1 日現在 (2019 (平成 31) 年 3 月退職予定者を除く。)

領域	分野	担当教員	
自然環境研究	環境生態学	○教授 奥田 敏 統 ○教授 久我 ゆかり ○教授 山田 俊 弘	○准教授 土谷 彰 男
	地球表層環境科学	教授 小野寺 真 一 教授 海堀 正 博	○准教授 ウィルヌーヴ 真澄美 准教授 小澤 久 准教授 並木 敦 子 准教授 横山 正 治 准教授 長谷川 祐 治
総合物理研究	複雑系物理学	教授 乾 雅 祝 教授 戸田 昭 彦	准教授 田口 健 准教授 田中 晋 平 准教授 宗尻 修 治
	相関係物理学	教授 石坂 智 一 教授 浴野 稔 一 教授 荻田 典 男 教授 畠中 憲 之 教授 東谷 誠 二	
情報システム 環境研究	情報システム 環境学	教授 相原 玲 二 教授 稲垣 知 宏 教授 西村 浩 二	准教授 児玉 明 准教授 近堂 徹 准教授 隅谷 孝 洋 講師 岩沢 和 男
社会環境研究	地域環境論	教授 浅野 敏 久 教授 Funck, Carolin E.H	准教授 匹田 篤 篤 准教授 福田 恵 在 講師 張 慶 在
	現代社会論	教授 材木 和 雄	准教授 李 東 碩 准教授 河本 尚 枝 准教授 佐々木 宏 嗣 准教授 山崎 修 之 准教授 白川 俊 之

(注) ○印の教員は、2019 (平成 31) 年 4 月から統合生命科学研究科担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

文明科学部門

領域	分野	担当教員	
文明史基礎研究	文明史文化史研究	教授 市川 浩 学 教授 辻 慎太郎 教授 吉村 慎太郎	准教授 杉木 恒 彦 准教授 三村 太 郎
	文化人類学	教授 高谷 紀 夫	准教授 長坂 格
	社会文化研究	教授 青木 利 夫 教授 平手 友 彦	准教授 Schlarb, Hans-Michael 准教授 武田 紀 子
地域研究	広域アジア研究	教授 荒見 泰 史 教授 布川 弘 志 教授 丸田 孝 志 教授 水羽 信 男	准教授 崔 真 碩 准教授 柳 瀬 善 治 准教授 李 郁 惠 准教授 渡 邊 誠
	広域ヨーロッパ研究	教授 長田 浩 彰	講師 河合 信 晴
	英米研究		准教授 城戸 光 世 准教授 薩摩 真 介 准教授 的場 いづみ 准教授 春日 あゆか

21世紀科学プロジェクト群担当教員一覧表

総合科学研究プロジェクト

2018 (平成30) 年10月1日現在 (2019 (平成31) 年3月退職予定者を除く。)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	言語と情報研究 (代表者: ◎町田 章)	
研究課題	言語と情報・数理の領域横断分析及び総合科学的研究	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	*教授 吉田光演	理論言語学 (統語論・意味論研究)
	教授 井上永幸	英語学 (コーパス言語学研究)
	教授 岩崎克己	ドイツ語学・CALL (インターネットと外国語教育研究)
	准教授 大嶋広美	中国語学 (中国語の音声研究)
	准教授 町田 章	認知言語学 (言語の認知的研究)
	教授 柴田美紀	第二言語習得 (◎全体総括, 第二言語習得研究)
	准教授 Clenton, Jon	応用言語学 (第二言語習得研究)
	准教授 Taferner, Robert Horst	言語習得 (言語習得研究)
	准教授 山根典子	音声学・音韻論 (英語・日本語の音声研究)
環境科学部門	准教授 宮園健吾	分析哲学 (言語の哲学的分析)
	准教授 匹田 篤	社会情報学 (公共空間における情報の表現・解釈の研究)
文明科学部門	准教授 河本尚枝	留学生教育 (留学生への言語教育)
	教授 荒見泰史	中国文学・敦煌学 (中国語教育教材開発)
	教授 平手友彦	フランス文学 (出版メディアの歴史的研究)
	准教授 李 郁 恵	日本語文学, 中国語圏の文化 (中国語教授法)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	文明と自然研究 (代表者: ◎浅野 敏久)	
研究課題	サステナビリティ再考	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	*教授 吉田光演	言語学 (人間科学の視点からの示唆・助言)
環境科学部門	○教授 奥田敏統	生態学 (生物多様性・生物資源とサステナビリティ)
	教授 海堀正博	砂防学 (砂防学からみた中山間地のサステナビリティ)
	教授 浅野敏久	人文地理学 (◎全体総括, 地域開発とサステナビリティ)
	教授 小野寺真一	水文地形学 (水循環と水資源)
	教授 Funck, Carolin E.H.	人文地理学 (サステナブル・ツーリズム)
	准教授 小澤 久	気候学 (環境変動の理論的解析)
	准教授 河本尚枝	社会学 (多文化・民族とサステナビリティ)
	准教授 匹田 篤	情報学 (社会情報・メディアとサステナビリティ)
	准教授 福田 恵	環境社会学 (山村のサステナビリティ)
文明科学部門	講 師 張 慶 在	観光学 (サステナブルな観光・まちづくり)
	教授 布川 弘	日本史学 (平和とサステナビリティ)
	教授 高谷紀夫	文化人類学 (多文化・民族とサステナビリティ)
	教授 荒見泰史	中国文化学 (文化遺産 (史料) とサステナビリティ)
	教授 水羽信男	中国近現代史 (アジアの環境とサステナビリティ)
	准教授 長坂 格	文化人類学 (多文化・民族とサステナビリティ)
	准教授 杉木恒彦	比較宗教学 (宗教と自然)
	准教授 李 郁 恵	中国文化学 (ポストコロニアル文学)
	准教授 春日あゆか	イギリス環境史 (都市環境の歴史とサステナビリティ)
准教授 柳瀬善治	日本近代文学 (文学とサステナビリティ)	

(注) *印の教員は、2020 (平成32) 年3月退職予定者です。

○印の教員は、2019 (平成31) 年4月から統合生命科学研究所担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

21世紀科学プロジェクト群担当教員一覧表

総合科学研究プロジェクト

2018 (平成30) 年10月1日現在 (2019 (平成31) 年3月退職予定者を除く。)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	リスク研究 (代表者: ◎海堀 正博)	
研究課題	自然災害のリスクに関する総合科学的研究	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	教授 岩 永 誠	適応行動論 (行動科学的分析)
	○教授 山 崎 岳	環境化学 (環境科学的分析)
	教授 林 光 緒	認知行動論 (行動科学的分析)
	教授 坂 田 桐 子	集団心理学 (行動科学的分析)
環境科学部門	教授 海 堀 正 博	砂防学 (◎全体総括, 環境科学的分析)
	准教授 並 木 敦 子	地球ダイナミクス (環境科学的分析)
	准教授 横 山 正	環境鉱物学 (環境科学的分析)
	准教授 長谷川 祐 治	砂防工学 (環境科学的分析)
	准教授 田 口 健	高分子物理学 (物質構造的分析)
	准教授 匹 田 篤	地域情報論 (地域情報学的分析)
文明科学部門	教授 吉 村 慎太郎	文明共存論 (文明科学的分析)
	教授 布 川 弘	日本地域研究 (歴史社会学的分析)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	資源エネルギー研究 (代表者: ◎小野寺 真一)	
研究課題	多様な資源・エネルギー問題とその安全保障に関する総合科学的研究	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	教授 石 田 敦 彦	生化学 (エネルギー輸送に係る物質の基礎研究)
	○教授 山 崎 岳	生化学 (生命資源)
	○教授 斎 藤 祐見子	生命科学 (生命資源)
	教授 坂 田 省 吾	行動科学 (生命資源)
	○准教授 佐 藤 明 子	生命科学・遺伝学 (生命資源・遺伝子資源)
	○准教授 根 平 達 夫	構造有機化学 (生命資源)
環境科学部門	教授 浴 野 稔 一	物性物理学 (エネルギー輸送に係る物質の基礎研究)
	教授 戸 田 昭 彦	ソフトマテリアル物理 (エネルギー輸送に係る物質の基礎研究)
	教授 浅 野 敏 久	人文地理学・環境社会学 (水資源, 生態系資源, 観光資源)
	教授 小野寺 真 一	環境地形学 (◎全体総括, 水資源・鉱物資源)
	○教授 久 我 ゆかり	共生微生物学 (遺伝子資源)
	教授 荻 田 典 男	物性物理学 (エネルギー利用)
	○教授 山 田 俊 弘	森林生態学・種生態学 (生態系資源)
	准教授 李 東 碩	世界経済体制論・環境経済論 (エネルギー資源)
	准教授 小 澤 久	大気科学 (水資源)
	○准教授 ガルスガ 真澄美	ソフト界面の熱力学 (エネルギー輸送に係る物質の基礎研究)
文明科学部門	教授 市 川 浩	現代科学・技術史 (エネルギー資源)
	准教授 崔 真 碩	朝鮮文化論 (エネルギー資源)

(注) ○印の教員は、2019 (平成31) 年4月から統合生命科学研究科担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

21世紀科学プロジェクト群担当教員一覧表

総合科学研究プロジェクト

2018 (平成30) 年10月1日現在 (2019 (平成31) 年3月退職予定者を除く。)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	要素－システム研究 (代表者：◎田中 晋平)	
研究課題	要素とシステムの相互作用 ー原子と物質・分子と生命・生物と生態系・個人と社会ー 循環する関係性	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	○教授 山 崎 岳	生化学 (生体分子の物性と機能)
	教授 石 田 敦 彦	生化学 (酵素機能と細胞情報伝達)
	○教授 齋 藤 祐見子	分子薬理学 (グリア細胞を介した脳内炎症機構の解明)
	教授 長谷川 博	運動生理学 (体温調節機構における脳内神経伝達物質の役割の解明)
	○准教授 根 平 達 夫	有機化学 (分子構造と分子機能)
	○准教授 彦 坂 暁	生命科学・進化学 (異質な要素の融合 (共生) による生物進化)
	准教授 町 田 章	認知言語学 (言語構造)
環境科学部門	教授 乾 雅 祝	金属・半導体物性 (液体金属のX線散乱実験)
	○教授 山 田 俊 弘	生態学 (生態系現象・実験)
	准教授 田 中 晋 平	コロイド物理 (◎全体総括, 人工生命現象・実験)
	○准教授 ガイルス・グ 真澄美	界面物理化学 (自己組織化現象と界面現象)
	准教授 小 澤 久	地球科学 (非平衡現象・理論的考察)
文明科学部門	准教授 長 坂 格	文化人類学 (個人と社会の関係性)

(注) ○印の教員は、2019 (平成31) 年4月から統合生命科学研究科担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

平和科学研究プロジェクト

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	ヒロシマの形成 (代表者：◎水羽 信男)	
研究課題	「ヒロシマ」という概念の形成とその多様性	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	教授 岩 永 誠	人間行動学 (復興の行動学的研究)
	教授 坂 田 桐 子	社会行動論 (復興の社会心理研究)
環境科学部門	准教授 佐々木 宏	社会学 (復興の社会学的研究)
	准教授 匹 田 篤	情報学 (復興の情報学的研究)
文明科学部門	教授 布 川 弘	日本史学 (復興の都市史的研究)
	教授 高 谷 紀 夫	文化人類学 (復興の宗教人類学的研究)
	教授 吉 村 慎太郎	文明共存論 (復興の比較史的研究)
	教授 青 木 利 夫	教育社会学 (復興に関する教育社会学的研究)
	教授 丸 田 孝 志	中国近現代史 (復興の歴史学的研究)
	教授 水 羽 信 男	東洋史学 (◎全体総括, 復興の歴史学的研究)
	教授 長 田 浩 彰	西洋史学 (復興の歴史学的研究)
	准教授 長 坂 格	文化人類学 (復興の社会人類学的研究)
	准教授 的 場 いづみ	アメリカ文学 (復興の社会史的研究)
	講 師 河 合 信 晴	西洋史学 (復興の歴史学的研究)

21世紀科学プロジェクト群担当教員一覧表

平和科学研究プロジェクト

2018 (平成 30) 年 10 月 1 日現在 (2019 (平成 31) 年 3 月退職予定者を除く。)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	環境平和学 (代表者: ◎杉木 恒彦)	
研究課題	環境平和学の構築－人間と環境の相互関係に関する総合的考察－	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	准教授 眞 嶋 俊 造	倫理学 (戦争倫理学)
	准教授 宮 園 健 吾	哲学 (貧困・暴力・環境・平和の関連についての哲学的考察)
環境科学部門	教 授 小野寺 真 一	流域環境学, 持続可能共生研究 (流域・沿岸の自然と人間との共生を明らかにし, 環境問題に起因する貧困問題の軽減に寄与し平和基盤を創造する)
	○教 授 奥 田 敏 統	森林生態学 (森林と人間との共生研究からの平和研究)
	○教 授 山 田 俊 弘	森林生態学, 持続可能共生研究 (森林生態系と人間との共生を明らかにし, 環境問題に起因する貧困問題の軽減に寄与し平和基盤を創造する)
	准教授 小 澤 久	地球科学, 大気科学 (自然と人間の共生研究)
	准教授 福 田 恵	農村社会学 (農村環境研究)
文明科学部門	准教授 杉 木 恒 彦	宗教学, 平和学 (◎全体総括, 宗教と貧困・暴力・環境・平和の関連についての事例・理論研究)
	准教授 三 村 太 郎	科学史 (科学史の観点からの環境理解研究)
	准教授 長 坂 格	文化人類学 (文化人類学の観点からの環境平和研究)

(注) ○印の教員は, 2019 (平成 31) 年 4 月から統合生命科学研究科担当教員となるため, 本研究科の指導教員として志望することはできません。

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	ヒロシマ韓国学 (代表者: ◎李 東碩)	
研究課題	ヒロシマ非正規・移住労働者の生存権確保のための労働組合・医療生協・自治体の日韓連帯	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	教 授 桑 島 秀 樹	美学・表象文化論 (多文化共生の東アジア連帯研究)
環境科学部門	准教授 李 東 碩	世界開発問題 (◎全体総括, IT・製造業労働組合の日韓連帯研究)
	准教授 河 本 尚 枝	在日外国人問題 (多文化共生の東アジア連帯研究)
文明科学部門	教 授 荒 見 泰 史	漢字圏の文化交流 (多文化共生の東アジア連帯研究)